

Newsletter

No.28 (2013.3.31 発行)

JAICOWS 役員会報告

日 時：2013年2月23日(土) 9:45～10:30

場 所：城西国際大学紀尾井町キャンパス 4号棟 201A 教室

出席役員：原ひろ子、岩井宜子、袖井孝子、田原淳子(順不同・敬称略)

ゲ ス ト：後藤弘子(敬称略)

議 事：

1. 次期(第23期)日本学術会議における女性の会員・連携会員の役割
後藤弘子会員(第22期第1部)を招き、現在の学術会議における女性の参画状況についてお話を伺い、意見交換を行った。
2. 次回役員会の日程について
5月連休明けの火曜日または水曜日に開催予定。

JAICOWS 総会報告

日 時：2013年2月23日(土) 10:30～11:30

場 所：城西国際大学紀尾井町キャンパス 4号棟 201A 教室

出 席：原ひろ子、岩井宜子、袖井孝子、後藤弘子、田原淳子ほか、委任状 54名(順不同・敬称略)

議 事：

1. 2012年度事業報告
 - (1) 総会の開催 2013年2月23日
 - (2) 役員会の開催 2012年6月27日、12月5日、2013年2月23日
 - (3) 講演会の開催
 - ・2012年6月27日「第22期日本学術会議と男女共同参画・ジェンダーの現状」
講師：浅倉むつ子(早稲田大学) 於 城西国際大学紀尾井町キャンパス
 - ・2012年12月5日「学術における男女共同参画の推進に向けて」
講師：江原由美子(首都大学東京) 於 城西国際大学紀尾井町キャンパス
 - (4) 日本学術会議公開シンポジウムへの参加の呼びかけ
 - ・2012年10月13日(土) 13:00～17:00「雇用崩壊とジェンダー」(於 日本学術会議講堂)
 - ・2013年2月23日(土) 13:00～17:00「災害復興とジェンダー」(於 日本学術会議講堂)
 - (5) 関連組織への加入等
 - ・日本学術会議ジェンダー関連学協会コンソーシアム 入会
 - ・NPO法人 WAN(ウィメンズ アクション ネットワーク) 登録団体
 - ・WAN ミニコミ電子アーカイブへのニュースレター寄贈(準備中)
 - (6) ニュースレターの発行等
 - ・No.27(2012年9月3日発行)
 - ・No.28(2013年3月31日発行)
 - (7) ホームページの更新

2. 2012 年度会計決算報告

2012 年度会計決算報告

(2013 年 3 月 31 日現在)

1. 収入の部

(単位:円)

勘定科目	①予算額	②決算額	差異(②-①)	備 考
繰越金	819,361	819,361	0	
会 費	530,000	465,000	△65,000	93 人分 (90.3%)
利 子	100	129	29	
寄 附	0	100,000	100,000	
収入合計	1,349,461	1,384,490	35,029	

2. 支出の部

(単位:円)

勘定科目	①予算額	②中間決算額	差異(①-②)	備 考
通信費	30,000	10,500	19,500	切手代, 往復はがき代等
Newsletter 印刷費	170,000	65,100	88,340	No.27・No.28
Newsletter 発送費		16,560		
行事費	50,000	0	50,000	講師謝金, アルバイト代等
会議費	25,000	5,393	19,607	弁当代, 茶菓代等
事務費	50,000	0	50,000	
学会業務委託費	420,000	420,000	0	
予備費	604,461	13,723	590,738	慶弔費, 振込手数料等
支出合計	1,349,461	531,276	818,185	
次年度繰越金		853,214		

※会員数 103 名 (2013 年 3 月 31 日現在)

JAICOWS 研究会第 2 回

27 号で JAICOWS として定期的に研究会を開催することをお知らせしました。第 2 回について報告します。

学術における男女共同参画の推進に向けて

江原由美子 (首都大学東京・第 22 期 日本学術会議会員)

2012 年 12 月 5 日 城西国際大学において

1) 日本における学術分野における男女共同参画の現状

結論的には、諸外国に比較して非常に少ない割合にとどまっており、特に理系で少ないこと、大学より企業でより少ないこと、がデータによって示された。

より詳しくは、女性研究者の割合において 13.6%ほどで、EU 加盟国・加盟候補国と OECD 加盟国の中からの 35 か国にロシアを加えた 36 か国中 36 位、1 位のラトビアは 52.4%、18 位の米国が 34.3%、35 位の韓国につぐ（男女共同参画白書）。

10 分野にわけてみると、家政学、人文科学に多く、理学、農学、工学が少ないなど、分野の偏りが見られる（図 1）。また、分野別職位別に見ると、芸術と商船を除いて女性は助手が極めて多い。どの分野でも下記に見られるように、時代とともにしだいに女性の比率は上昇しているが、上記 3 分野の伸びは保健学などに比較して小さいことが読み取れる。

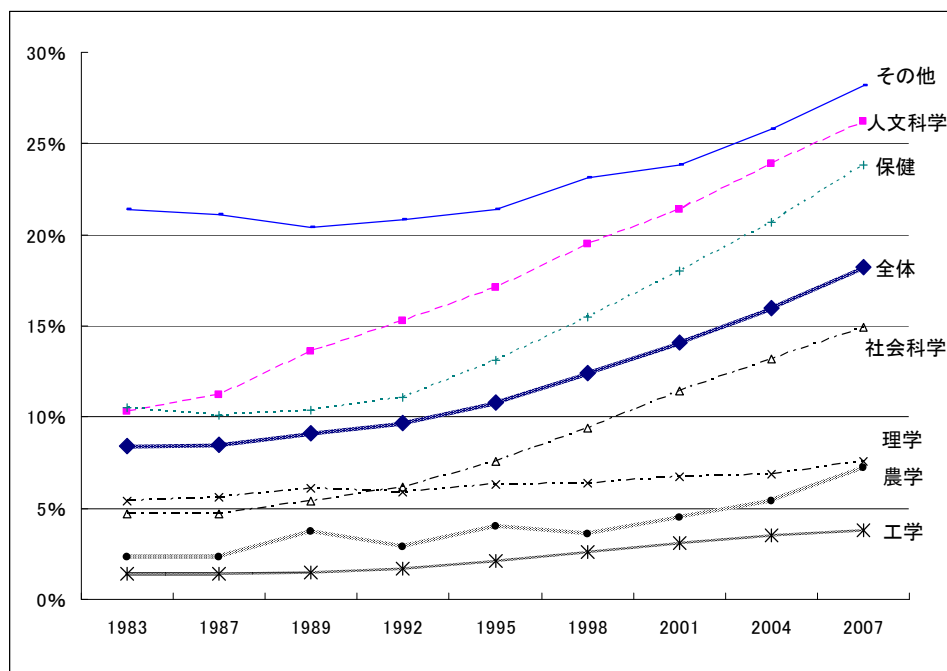


図 1 本務教員に占める女性比率の推移

詳細は省略するが、学生や修士課程の学生の男女比や分野の偏りにも同様の傾向が見られ、そう簡単にこの状況が改善されていくようには見えない。

このような女性の少なさは、必要とされる技術者数が確保できない、科学技術の成果還元や女性の視点が活かされない、大学の国際競争力の低下などの問題を生んでおり、要約すれば科学技術力の低下につながっている。

2) 改善のために必要な学術会議の取り組み

さて重要なのは、このような状況を改善するために、日本学術会議はどのような取り組みをしていくのがよいか、ということである。すでに第 1 回研究会の浅倉むつ子氏の講演（ニュースレター 27 号掲載）にあるように、女性会員や連携会員が幹事会やジェンダー関連の分科会、シンポジウムで発言したり、提言をまとめて活躍し、それが「学術の動向」で報告されるなどしているが、このような動きを一層確かなものにしていくためには、学術会議の会員、連携会員のなかの女性比率を増やす必要がある。

平成 20 年における日本学術会議の会員に占める女性の割合は 20.5%、連携会員に占める女性割合は 12.5% である。第 4 期科学技術基本計画では、平成 27 年にはそれぞれ 22% と 14% をめざすとしている。ただし、第 22 期の女性会員のうち、残任期間が 3 年の女性会員が過半数であり、第 23 期以降も女性の活躍を量質ともに拡大していく必要がある。なお、参考のために表 1 に分野別に男女別の会員数を示した。現会員も連携会員も次期の会員、連携会員を個人として推薦することができる。

参考になるのは、科学者委員会男女共同参画分科会が、学協会を対象として 2012 年に行ったアンケートの結果である。会員の女性比率は 10.0%、役員女性の比率は 14.6%、代表者選考・役員選考・会員選考な

どにおけるポジティブアクションの実施率は 19.4%であった。役員などの女性比率を上げることに何らかの努力をしている学協会もある程度存在しているが、まだまだ少ないという印象である。

表1 分野別男女別会員数

(平成23年10月)

第1部	男	女	第2部	男	女	第3部	男	女
言語・文学	3	1	基礎生物学	8	2	環境学	1	1
哲学	4	0	統合生物学	0	1	数理科学	2	1
心理学・教育学	6	4	農学	7	2	物理学	5	2
社会学	3	3	食料科学	5	0	地球惑星学	5	1
史学	4	3	基礎医学	13	1	情報学	11	1
地域研究	3	3	臨床医学	14	3	化学	7	3
法学	10	5	健康・生活科学	1	4	総合工学	6	1
政治学	4	2	歯学	3	0	機械工学	8	0
経済学	7	4	薬学	3	0	電気電子工学	4	0
経営学	2	1				土木工学・建築学	6	0
						材料工学	6	0
合計	46	26	合計	54	13	合計	61	10
%	63.9%	36.1%	%	80.6%	19.4%	%	85.9%	14.1%

このような中で興味深いのは、理系分野では「理系分野における男女共同参画学協会連絡会」が作られており、文系分野でも同様の連絡会を作ろうという動きがあることだ。このような動きを含めて、女性研究者のネットワークを構築し、勤務環境を整備していく具体的な方策が練られるようにしていくことも、学術会議の取り組みとして重要であろう。

【文責 直井道子】

新入会員

あらたに次の方が入会されました。

会員番号	氏名	勤務先	入会日
0240	池田 裕恵	東洋英和女学院大学人間科学部	2012/08/28
0241	宮本 みち子	放送大学教養学部	2012/10/02
0242	湯村 和子	国際医療福祉大学病院予防医学センター	2013/02/25

(この号は、桜美林大学大学院の直井が係りででした。)

連絡先：女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（JAICOWS）事務局
〒206-8515 東京都多摩市永山 7-3-1
国士舘大学体育学部田原淳子研究室
E-mail：tahara@kokushikan.ac.jp

学会事務センター：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル
株式会社ワールドプランニング
Tel：03-5206-7431 Fax：03-5206-7757
E-mail：world@med.email.ne.jp

郵便振替口座番号 00100-8-542793